

住宅宿泊事業届出書（記入例）

（別添）

※この届出書は、個人の届出を想定したものです。

第一号様式（第四条関係）

（A4）

住宅宿泊事業届出書 （第一面）

住宅宿泊事業法第3条第1項の規定により、住宅宿泊事業の届出をします。
この届出書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

〇〇年××月△△日

熊本県知事 殿

届出者 商号又は名称
氏 名 熊本 太郎
（法人である場合においては、代表者の氏名）
電 話 番 号 1 2 3 - 4 5 6 - × × × × ×
クシミリ番号 0 9 8 - 7 6 5 - × × × × ×

・届出者のフリガナ、氏名を記入
・個人の場合、宿名、屋号等は記入しない

・住所は、届出者の住民票に記載されている「住所」を記入
・大字、字、丁目、番地、号などは、省略せずに記入

◎ 商号、名称又は氏名、住所及び連絡先

法人番号	
フリガナ	クマモト タロウ
商号、名称 又は氏名	熊本 太郎
郵便番号	1 2 3 - × × × × ×
住 所	熊本市〇〇区大字××字△△1丁目2番 3号
電話番号	1 2 3 - 4 5 6 - × × × × ×

法人・個人の別
1. 法人
2. 個人

<該当する数字を記入>
法人での届出・・・1
個人での届出・・・2

◎ 代表者又は個人に関する事項

フリガナ	クマモト タロウ
氏 名	熊本 太郎
生 年 月 日	S - 6 0 年 0 1 月 0 1 日
性 別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性

届出者の性別にチェック

生年月日が、昭和60年1月1日の場合
→S-60年01月01日
※元号の表記
明治・・・M、大正・・・T、昭和・・・S、
平成・・・H、令和・・・R

- ・所在地は、住宅の登記事項証明書に記載されている「所在」を記入
- ・大字や字、番地などは、省略せずに記入

・不動産番号は、住宅の登記事項証明書の右上端に記載されている13桁の数字を記入

- ・住宅の規模について、居室、宿泊室、宿泊者の使用に供する部分（宿泊室を除く）のそれぞれを記入
- ・算出した根拠を図面等に記入
- ・原則、居室（内寸）＜宿泊室（壁芯）となります！

◎ 住宅に関する事項

郵便番号	1	2	3	—	×	×	×	×	×
所在地	熊本市〇〇区大字××字△△1丁目2番3								
不動産番号	1	2	3	△	△	△	△	△	△
第2条各号に掲げる家屋の別	<input checked="" type="checkbox"/> 現に人の生活の本拠として使用されている家屋		<input type="checkbox"/> 入居者の募集が行われている家屋			<input type="checkbox"/> 随時その所有者、賃借人又は転借人の居住の用に供されている家屋			
住宅の建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅			<input type="checkbox"/> 長屋		<input type="checkbox"/> 共同住宅		<input type="checkbox"/> 寄宿舎	
居室	19.7 m ²								
住宅の規模	宿泊室				宿泊者の使用に供する部分（宿泊室を除く）		合計		
	1階	0 m ²			40.6 m ²		40.6 m ²		
	2階	19.9 m ²			11.6 m ²		31.5 m ²		
	一階	— m ²			— m ²		— m ²		
	合計	19.9 m ²			52.2 m ²		72.1 m ²		

確認欄
※

◎ 営業所又は事務所に関する事項（営業所又は事務所を設ける場合）

営業所又は事務所の名称									
郵便番号									
所在地									
電話番号									

<該当する家屋にチェック>

- ・現に人の生活の本拠として使用されている家屋
 - ・・・実際に、特定の人物が継続的に生活を営んでいる家屋
- ・入居者の募集が行われている家屋
 - ・・・分譲（売却）又は賃貸の形態で、入居者の募集が行われている家屋
- ・随時その所有者、賃借人又は転借人の居住の用に供されている家屋
 - ・・・生活の本拠ではなくても、少なくとも年に1回以上は居住している家屋

<該当する住宅の建て方にチェック>

- ・一戸建ての住宅
 - いわゆる一戸建ての住宅（屋内で行き来できる2世帯住宅も含む）
- ・長屋
 - ・・・一の建物を複数世帯向けの複数の住戸として利用し共用部分（共用廊下や共用階段）を有しないもの
- ・共同住宅
 - ・・・一の建物を複数世帯向けの複数の住戸として利用し、共用部分（共用廊下や共用階段）を有するもの
- ・寄宿
 - ・・・一の建物を複数世帯向けの複数の住戸として利用し、複数住戸で台所等の設備を利用するもの

受付番号

※

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 住宅宿泊管理業務の委託に関する事項（住宅宿泊管理業務を委託する場合）

住宅 宿泊 管理 業者	フリガナ	
	商号、名称 又は氏名	
	登録年月日	
	登録番号	
	管理受託契約 の内容	・届出者が当該住宅で継続的に生活を営んでいる場合 「住宅に人を宿泊させる間、不在とならない」に チェック

確認欄

※

◎ その他の事項

<input checked="" type="checkbox"/>	住宅に人を宿泊させる間、不在（法第11条第1項第2号の国土交通省令・厚生労働省令で定めるものを除く。）とならない	
<input checked="" type="checkbox"/>	賃借人に該当する	<input checked="" type="checkbox"/> 賃貸人が住宅宿泊事業の用に供することを目的とした賃借物の転貸を承諾している
<input type="checkbox"/>	賃借人に該当しない	
<input type="checkbox"/>	転借人に該当する	<input type="checkbox"/> 賃貸人及び転貸人が住宅宿泊事業の用に供することを目的とした転借物の転貸を承諾している
<input checked="" type="checkbox"/>	転借人に該当しない	
<input type="checkbox"/>	住宅がある建物が、二以上の区分所有者が存する建物で人の居住の用に供する専有部分のあるものに該当する	<input type="checkbox"/> 規約に住宅宿泊事業を営むことを禁止する旨の定めがない（当該規約に住宅宿泊事業についての定めがない場合は、管理組合に届出住宅において住宅宿泊事業を営むことを禁止する意思がない旨を含む。）
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅がある建物が、二以上の区分所有者が存する建物で人の居住の用に供する専有部分のあるものに該当しない	

チ
ェ
ッ
ク

①
②
③
そ
れ
ぞ
れ
の
該
当
す
る
項
目
に

① 「賃借人に該当する」場合

所有者（住宅の登記事項証明書に記載されている所有者）から承諾書を得たうえで、「賃貸人が住宅宿泊事業の用に供することを目的とした賃借物の転貸を承諾している」にチェック

② 「転借人に該当する」場合

住宅の所有者（住宅の登記事項証明書に記載されている所有者）及び賃借人からそれぞれ承諾書を得たうえで、「賃貸人及び転貸人が住宅宿泊事業の用に供することを目的とした転借物の転貸を承諾している」にチェック

③ 「住宅がある建物が、二以上の区分所有者が存する建物で人の居住の用に供する専有部分のあるものに該当する」場合

住宅宿泊事業を営むことを禁止する旨の定めがないことを証する書類を添付し、「規約に住宅宿泊事業を営むことを禁止する旨の定めがない」にチェック